



給食だより 11月号



あき 実りの秋 食べ物を大切にいたしましょう

ひゅうがしがっこうきゅうしょく

日向市学校給食センター

校庭の木々が色づき、日に日に秋が深まってきたことを感じます。

昔から日本人にとって重要な穀物であるお米をはじめ、大豆やそば、里いもなど、さまざまな作物が収穫時期を迎えています。各地で収穫を祝うお祭りが開催され、11月23日には「新嘗祭」という伝統的な宮中行事が行われます。

この日は「勤労感謝の日」として国民の祝日になっていますが、食べることは、たくさんの人の勤労に支えられていることを忘れずに、日々の食事を大切にいたしましょう。



給食で学ぶ放置竹林問題

国産メンマ 美味しく食べてSDGs

メニュー「牛肉とメンマの中華炒め」

9月18日塩見小学校5年生を対象に「交流給食学習会」を行いました。

国産メンマを製造・販売する丸松物産と栄養教諭、給食センター職員による授業では、竹林が増え土砂災害が起きやすくなっている問題があること、たけのこを加工してメンマにし食べることが課題解決策の一つになることなど竹林を活用することの大切さを伝えました。



塩見小学校(5年生) 交流給食の様子

11月15日 子どもの成長を祝う 七五三

七五三は、3歳・5歳・7歳の年に晴れ着姿で神社や寺院にお参りし、子どもの健やかな成長を祝う行事です。平安時代の宮中行事がもととなり、公家や武家で行われていた、3歳で髪を伸ばし始める「髪置き」、5歳で袴を身につける「袴着」、7歳で着付けに帯を使い始める「帯解き」の儀式に由来します。江戸時代には、子どもの成長を祝う行事として庶民の間へと広まり、現在の七五三の原型となりました。

